

令和3年8月11日

新型コロナウイルス感染爆発、自宅待機急増の状況下、住民の皆様へ

いわき医師会会長 木村守和

A 危機感を共有して、感染抑制に力を合わせましょう

- ① 7月の連休以降一部の人々の気が緩み、会食・バーベキューなどで感染拡大
- ② デルタ株は感染力高く、重症化しやすい、ワクチン接種後も感染ある
- ③ いわき市で自宅療養・待機となっている方が200名を超えている
- ④ 福島労災病院でクラスターが発生し、医療状況は大変厳しくなってくる

B これ以上の感染拡大は、絶対に許されません

- ① いわきの医療体制は厳しく、連携・協力しているが限界が近づいている
- ② 自宅待機が増えすぎると、「急変して命にかかわる方」が出てくる
- ③ コロナ対応に追われると、通常の医療（救急・手術等）が行えなくなる

C 具体的には、以下の点に注意しましょう

- ① すべての人が、不要に他人と接触する機会を減らす必要がある
- ② お盆の帰省を含めて、市外・県外との人の行き来を減らす
- ③ 新盆まわりをできるだけ非接触で、玄関での挨拶もやむを得ない
- ④ いつも一緒にない人との会食・バーベキューは絶対いけない

最後に言いたいことは、自分や家族・友人の健康を守るため、いわきの医療を守るために、住民すべてが「感染しない、感染させない、感染を広げない」ために、「危機感を共有して行動を変える必要がある」ということです